

千葉の豊かさ発見

—日本の忘れものがここにある—

6/11 (土)

13:30~15:30

(開場 13:00)

江戸を中心とした文学・文化の通史を
千葉県の風土をまじえて
わかりやすくお話しします



万葉の時代から現代まで



米/作家・写真家・地理学者
エリザ・シドモア

(写真 クレジット: ©Reflections of Japan: Photographs by Eliza Scidmore is organized by the National Geographic Society)

→ ワシントンD.C.に桜並木を
作ることを提案した



錦絵:南総里見八犬伝

『安房 里見の姫君伏姫』

(国立国会図書館デジタルコレクションより)

→ 馬琴はなぜ28年もかけて書き続けた?



英/紀行作家

イザベラ・バード

(ウィキメディア・コモンズより)

→ 当時としては珍しい
女性旅行家

講師: 佐藤 毅 氏

(江戸川大学 メディアコミュニケーション学部
マス・コミュニケーション学科 教授)

東京オリンピック・パラリンピックの招致活動の際に使われ、流行語にもなった「おもてなし」。世界に誇れる日本の文化です。幕末から明治初期にかけて来日した外国人が驚嘆し、文章に数多く書き残しているのは、江戸の文化レベルの高さでした。しかし日本の近代化はそれらの多くを捨て去ることで成されたという一面があります。

本講座では、江戸の市井の民衆が当たり前のように過ごしていた日常の規範や考え方にスポットを当て、現代人が忘れ去った江戸の美学を掘り起こしていきます。千葉の風土と文化から、現代日本の「忘れ物」を再発見してみませんか。



平成28年6月11日(土)

13:30 ~ 15:30 (開場 13:00)

講師: 佐藤 毅 氏 (江戸川大学 教授)

会場: 千葉県立東部図書館 3階研修室

申込受付: 5月5日(木)より

ご来館の上 直接、または、電話にて。

定員: 60名 (定員に達し次第締切り) 聴講無料

問合せ・申込み 千葉県立東部図書館

TEL 0479-62-7070